

# 低炭素社会への移行の可能性

1. GHG削減の中期目標と国内の主な施策
2. 低炭素社会と国民生活への影響評価

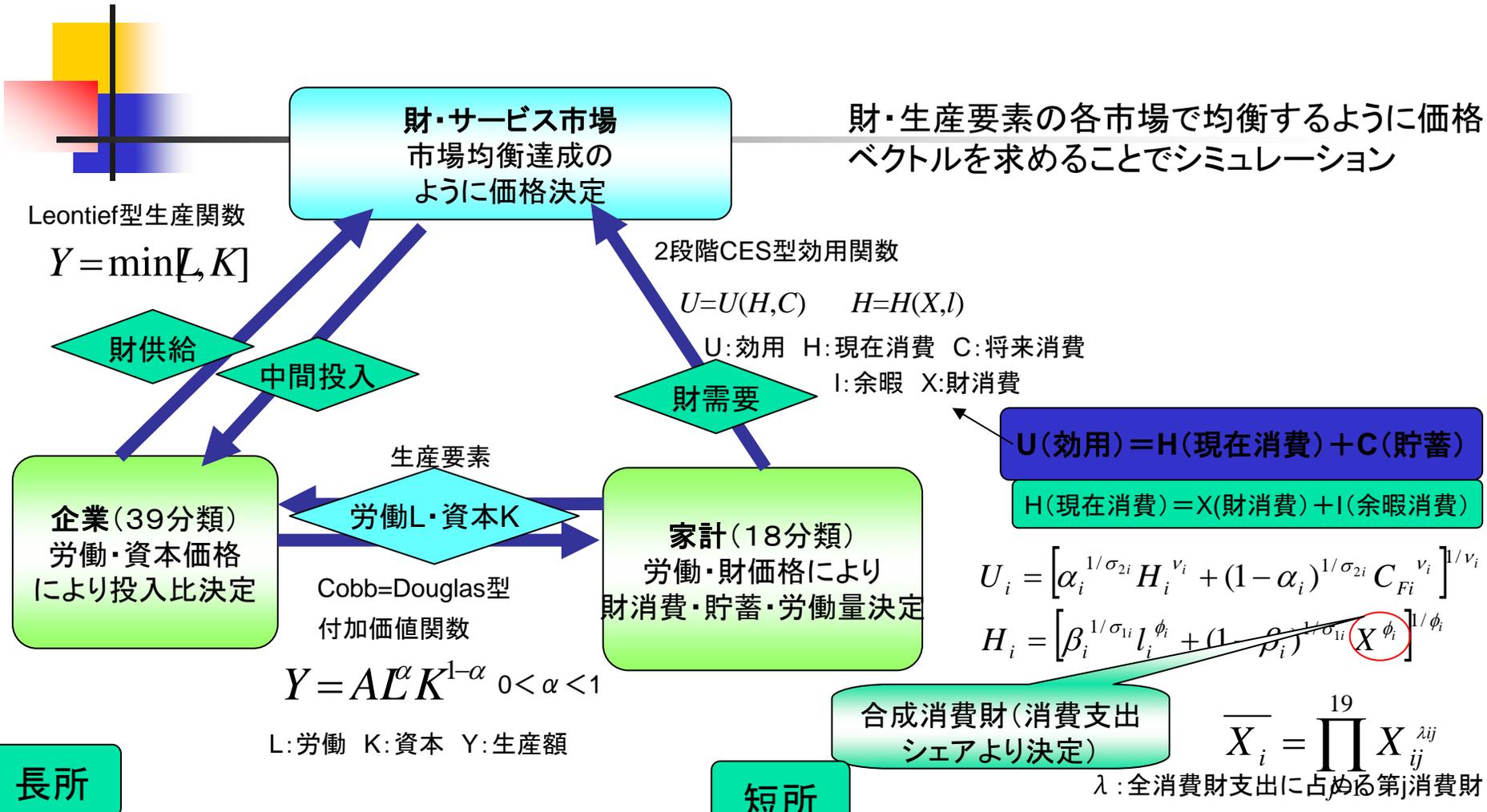
2009年12月17日

出典:「低炭素社会への移行の可能性とその方策」松橋隆治  
エンジニアリングシンポジウム2009講演資料

# 応用一般均衡モデル—部門—



# 応用一般均衡モデル—構造—



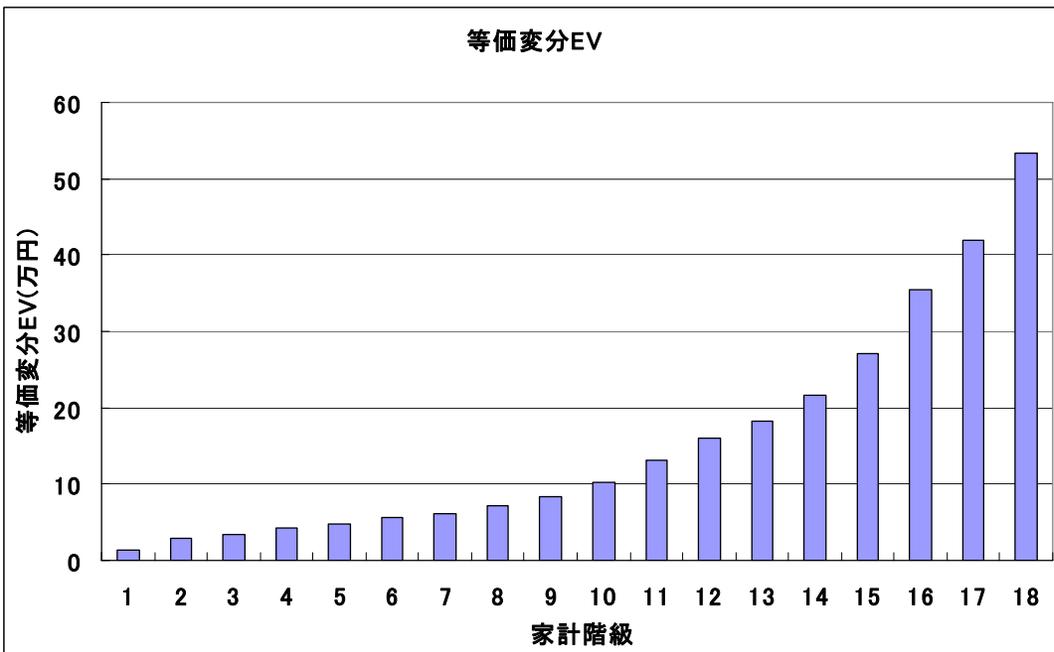
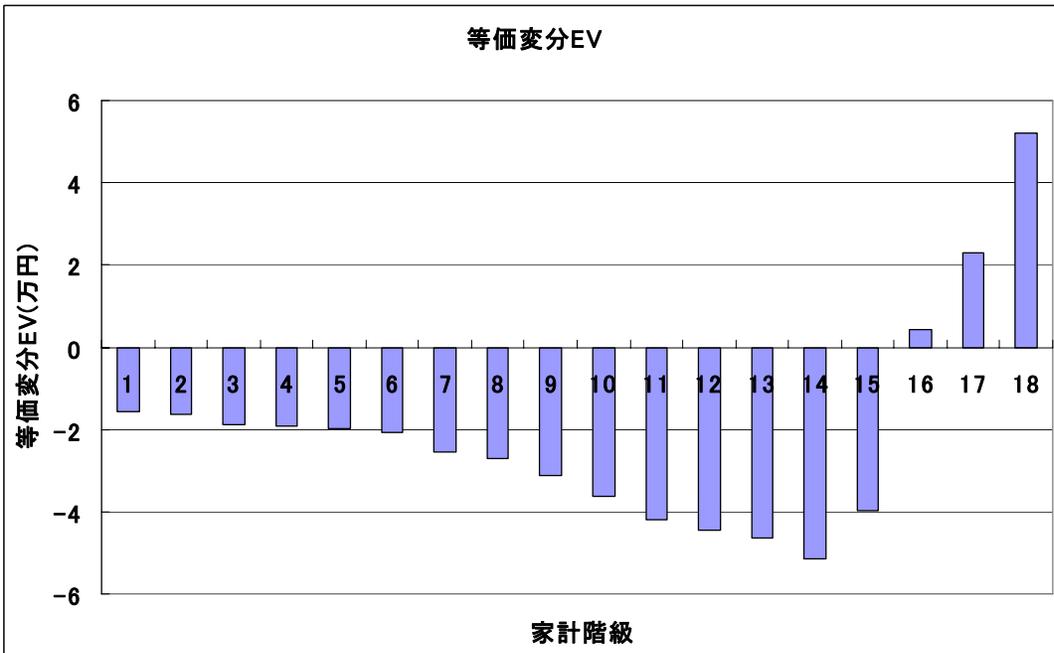
**長所**

- ・家計が所得階層ごとに18分類  
⇒環境技術投入による経済影響評価  
⇒階層ごとの排出削減量の定量評価

**短所**

- ・相対価格で計算を行い結果は実価格で得られない  
⇒「等価変分」を採用し金銭換算可能に

# 応用一般均衡モデルを用いたシミュレーション結果例1



等価変分: 効用変化分を削減前の基準ケースの財価格で金銭換算した指標

家電, エアコンの効率向上なし,  
PVなどの価格低下なし

中所得階層以下で  
等価変分がマイナス

家電, エアコンの省エネ,  
PVなどの価格低下

全18階層で等価変分  
がプラスに転化

省エネ性能の向上と技術価格の  
低下が家計の効用を支える